

地域の寺子屋

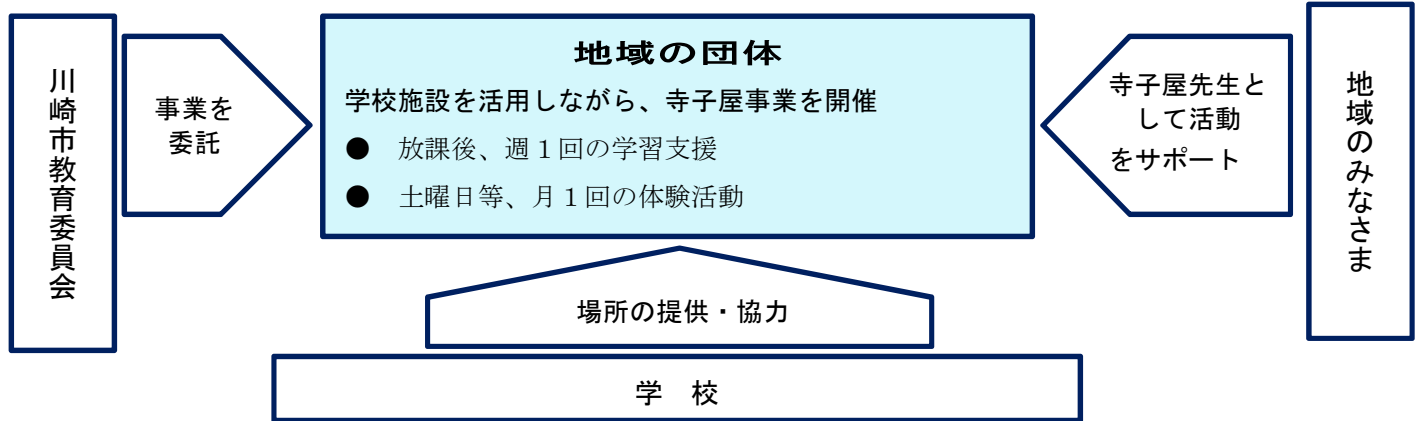




地域の寺子屋とは

次の3つの目標を掲げて、川崎市教育委員会が平成26年度からスタートした事業です。

- 地域ぐるみで子ども達の学習や体験をサポートする仕組みづくり
- シニア世代をはじめとする地域の様々な方の知識と経験を活かした、多世代で学ぶ生涯学習の拠点づくり
- 子ども達に豊かな学びや体験の機会を提供することによる学ぶ意欲の向上や豊かな人間性の形成



まなぶ



学校の図書室や多目的教室などをお借りして、週1回、放課後に学習のサポートをしています。
 教えてくれるのは地域の方や元教員などの寺子屋先生。宿題や、寺子屋で用意したプリントなどを通して、子ども達に、「分かった!」「とけた!」「勉強楽しい!」と思える体験をたくさんしてほしいと思っています。



帰りの会が終わった子ども達が、寺子屋に集まってきます



寺子屋先生や子どもの自己紹介
一年間、一緒に楽しく勉強しましょう



時には特別ゲストやお楽しみ学習も



早速勉強



宿題をみてもらったり
音読を聞いてもらったり



今日の勉強はここまで。
わくわくプラザに行く子は
一緒に行きましょう



プリントには花丸を



たいけんする



学校の体育館や校庭、地域の施設などを使って月1回、土曜日等にいろいろな体験をします。テーマは科学、料理、スポーツ、遊び、歴史、環境、伝統文化などなど。パパ、ママ、他のクラス・学年のお友達、地域の人もみんな一緒に楽しく活動をして、たくさんの体験をしています。



寺子屋を立ち上げるには？

中学校区地域教育会議、総合型地域スポーツクラブ、NPO 団体、学校運営協議会、或いは PTA の OB や町内会の方などが協力して立ち上げた実行委員会など、様々な形態の団体が寺子屋を運営しています。寺子屋を受託するための条件は、団体としての形態を有していること（任意団体でも OK）。そして、「子ども達のために活動したい！」「地域の大人と子どもがつながる場を作りたい！」という熱い思いがあることです。「どんなふうに取り組めばいいの？」「予算はどれくらいもらえるの？」「寺子屋先生はどうやって集めるの？」などなど、まずは、お気軽にご相談ください。

寺子屋先生・寺子屋コーディネーター養成講座

教育文化会館や各区の市民館、川崎市生涯学習財団と連携して、放課後の学習支援をサポートしてくれる「寺子屋先生」や、寺子屋の運営を担うコーディネーターの養成講座を実施しています。

地域の寺子屋推進フォーラム

多くの方に寺子屋に関心を持ってもらうために、年1回、フォーラムを開催しています。

【寺子屋立ち上げまでのストーリー】

- ステップ1 まずは、教育委員会へ相談
- ステップ2 仲間集め（一緒に運営してくれる人、寺子屋先生として協力してくれる人）
- ステップ3 受託団体としての体制作り、実施する学校への打診
- ステップ4 学校を交えて、具体的な内容の相談（何曜日にやろうか？どの教室を使えるの？）
- ステップ5 実施する学校でのニーズ調査
- ステップ6 開講に向けてプログラムや案内づくり…



■ ■ イメージキャラクター ■ ■

寺ッコは、ラッコ界の危機を救おうと、人間の知恵を学びにやってきた王子様です。寺子屋の門下生として登録しました。人間の子供達と一緒に寺子屋で学んでいます。



寺ッコ
ラッコ界の王子



ホタテじい
王子のお供
120年食用を逃れ続けた
物知りの王様の執事



ウニまる
王子の付き人
王子が勉強で眠くなる時の
ちくちく役

提供：イラストレーター宮越明子 (super-KIKI) さん
川崎市立臨港中学校 平成12年卒業
川崎市立総合科学高校デザイン科 平成15年卒業

寺子屋のお友達が考えてくれた寺ッコのお友達シリーズ



■ ■ 寺子屋は世代を超えたつながりを作り直す装置 ■ ■



川崎市長 福田 紀彦

「いだけ支援」という言葉が、寺子屋から生まれました。寺子屋先生の役割は「教える」ことではなく、「寄り添う」ことです。宿題をする時に横にいてくれる。自分の話を聞いてくれる。見ていてくれる。そして、できたことや頑張ったことを認めて、褒めてくれる大人がいる寺子屋の時間は、子ども達にとって、贅沢な時間です。

いくつになっても、人から認められることは嬉しいことです。ことさら親や先生以外の大人から認められる体験は、子ども達の自信を育むことでしょう。

また、子どものうちに、生き生きと地域で活動する大人と出会うことは、将来、自分がどういう大人になりたいかを考える時、とても参考になると思いますし、小中学生のうちから地域の大人と顔見知りになって、まちで挨拶ができるような関係を作ること、子ども達が安心して育つことができる環境づくりにつながります。

核家族化が進む現代社会においては、大人同士の関係さえ希薄になっていますから、意識的に多世代が交流する場を作っていくことが必要です。寺子屋は、地域の大人と子ども達が出会い、大人同士もつながる場であり、世代を超えた人と人のつながりを、もう一度作り直す装置です。多世代で多様なつながりの中で、子ども達を見守り、育てていく「地域の寺子屋」に、あなたも参加してみませんか。

■ ■ ご協力いただいている団体・企業 ■ ■

「地域の寺子屋」では、市内外の様々な団体・企業にご協力をいただいています。

宇宙航空研究開発機構 JAXA、東京ガス株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、日本和紙ちぎり絵協会
放課後 NPO アフタースクール、海洋研究開発機構 JAMSTEC、日本スポーツチャンバラ協会
DeNA、日本漢字能力検定協会、森永乳業株式会社、日本数学検定協会、ミサワホーム株式会社、Kajac、
川崎おやじ連、川崎市菓子協議会、東京書籍株式会社、日本女子大学、慶応義塾大学、横浜国立大学、
プラチナ構想ネットワーク、新興出版社啓林館、話芸写、NTT テクノクロス株式会社 (敬称略)

ほか 60 団体以上

お問い合わせ

川崎市教育委員会事務局生涯学習推進課

〒210-0004 川崎市川崎区宮本町 6

TEL : 044 - 200 - 3309 FAX : 044 - 200 - 3950

E-mail : 88syogai@city.kawasaki.jp

http://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000061821.html

